

2020年3月期第2四半期決算説明会 質疑応答要旨

株式会社 平和

【遊技機事業】

Q1. 今年の年末までにパチスロ旧規則機約20万台が撤去となるが、パチンコホールの需要の動向は。

A1. 今年の年末までにパチスロ旧規則機約20万台が撤去となるため、現在入れ替えが進んでいる状況である。しかしながら、一般財団法人保安通信協会における型式試験の適合率が低調に推移していることから、メーカーから新台が供給されず、パチンコホールは新台を購入したくても購入できない状況となっている。

Q2. 第2四半期（累計期間）の研究開発費が増加しているが、その理由は。また、来期はどの程度の研究開発費を見込んでいるのか。

A2. 研究開発費については、前期が少なかった。発生タイミングの関係で今期にずれ込んだためである。また、今期は、来期の入替需要に向けて費用を投下している。これらの理由により研究開発費が大幅に増加している。来期の研究開発費については、一定程度下がる見込みである。

Q3. 第3四半期発売のパチスロ機「闘魂継承 アントニオ猪木という名のパチスロ機」「ルパン三世 イタリアの夢」の受注状況は。また、第4四半期発売のパチンコ機「南国育ち デカバトver.」の受注状況は。

A3. 「闘魂継承 アントニオ猪木という名のパチスロ機」は10,000台弱、「ルパン三世 イタリアの夢」は17,000台強の注文があった。また、「南国育ち デカバトver.」は当社においてチャレンジした機械であるため、多くの販売台数を見込んでいない。

【ゴルフ事業】

Q4. 台風等がゴルフ事業へ与えた影響はどの程度であったのか。また、台風等の天候要因がなかつた場合には好調であったと見受けられるが、これは平和の施策が奏功したのか、それとも市場環境が良かったのか。

A4. 9月の台風15号、10月の台風19号及び台風21号に伴う大雨による影響は、3つの天候要因合計で、売上高で約10億円のマイナスとなった。そのうち、台風15号については、被災したゴルフ場以外のゴルフ場でカバーしたことにより、第2四半期（累計期間）の業績は増収増益となった。第3四半期（会計期間）では売上高で7億円程度の影響があると見込んでいる。これは、安全を最優先として、計画的に86ゴルフ場でクローズしたためである。台風等により河川敷の4ゴルフ場が冠水したが、現在では復旧しており、今後の損益への影響は軽微であると認識している。また、災害復旧費用として約10億円発生する見込みであるが、設備投資計画の金額の範囲内で実施する予定である。

【その他】

Q5. 下期はパチスロ機の販売が好調になることにより、利益面は通期計画を上回ると思われるが、計画を据え置いた理由は何か。

A5. パチンコ機の販売台数の未達分を、パチンコ機に比して利益率の高いパチスロ機が補った場合には、利益面で上振れる余地はあるが、現時点においては、通期計画と同等で着地すると想定している。

以上